取扱説明書

DAYTONA®

R90096①/④

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

GIVI AF49 可変ユニバーサルスクリーン	適応車種	商品NO.
	ユニバーサル	90096

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※　商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止

・走行中のスクリーンの調整は大変危険です。スクリーンの高さ調整は車両が停止した状態で調整をおこなってください。

⚠注意

実施

・作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
・ハンドルクランプバー周辺部分にて角度調整ができるようになっております。仮締め後位置合わせを行い、その後本締めをするようにして下さい。
・取り付けは、確実に行って下さい。**六角穴付ボルトの締め付けトルクは指示値を超えないよう充分注意して下さい。締めすぎた場合、バイザーが破損する恐れがあります。**
・取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検してください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。また、走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

法令違反

・一般公道使用の場合、２５０cc 超モデルで形式認定使用の高さより大きくなった場合には、１５日以内に最寄りの陸運支局へ改造申請が必要です。２５０cc 以下のモデルには、改造申請の必要はありません。

2014/01/20

その他

- この商品はユニバーサル品です。バーハンドルタイプの車両でしたら基本的には取付可能です。またヘッドライトが標準的な１８０φタイプなどでは取付出来ますが、極端に大きいライトやライト回りに干渉する物（フォグライトなど）がある場合は取付ができない事もありますのでご注意下さい。
- **このスクリーンは、太陽光を直接当てると、小さな領域に集光する光学的特性があります。そのためごくまれなケースですが、車体の他の部分に損傷を与える場合がありますので、直射日光があたったまま状態で置いておかない様にお願いします。**
- 商品の手入れ方法→乾拭きは絶対に避けてください。傷がつき視界性が悪くなります。水をかけて表面のほこりや砂を洗い流した後、柔らかいスポンジ等で水と中性洗剤を含ませてやさしく洗ってください。洗剤は水で洗い流してください。シンナーや、溶剤を含む化学薬品等の使用は、変形、歪み、破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 取り付けの際、この商品や脱着するケース側部品の角部等に、エッジや突起がある場合があります。商品の取扱いや取付作業、洗車を行う際には保護手袋を使用してください。またエッジや突起部がある場合ヤスリ等を使用して処理を行ってください。
- この商品は予告なしに価格または仕様を変更する場合が有ります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

本商品の特徴

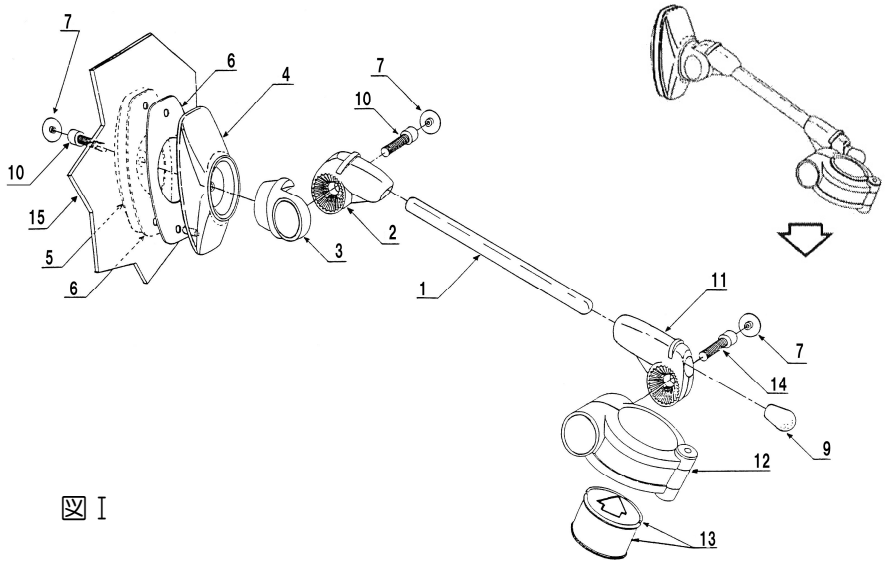
- 衝撃に強く弾力のあるポリカーボネイト製（3mm厚）を使用。
- ハンドル、フロントフォークにクランプタイプです。
- スクリーンの高さを調整可能。それにより疲労も軽減。

商品内容

No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量	No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ハンドルクランプバー		各1	⑩	スクリュー	M6×20	10
②	クランプ（スクリーン側）	L,R	4	⑪	クランプ（車体側）	L,R	4
③	ジョイント		4	⑫	ハンドルクランプ	L,R	2
④	インナープレート		4	⑬	カラー		4
⑤	アウタープレート		4	⑭	スクリュー	M6×50	2
⑥	ラバークッション		8	⑮	スクリーン（固定）		1
⑦	カバーキャップ小		12	⑯	フロントフォーククランプバー		2
⑧	ロンググランプ		2	⑰	クランプ		2
⑨	キャップ		4	⑱	クランプラバーバンド		2

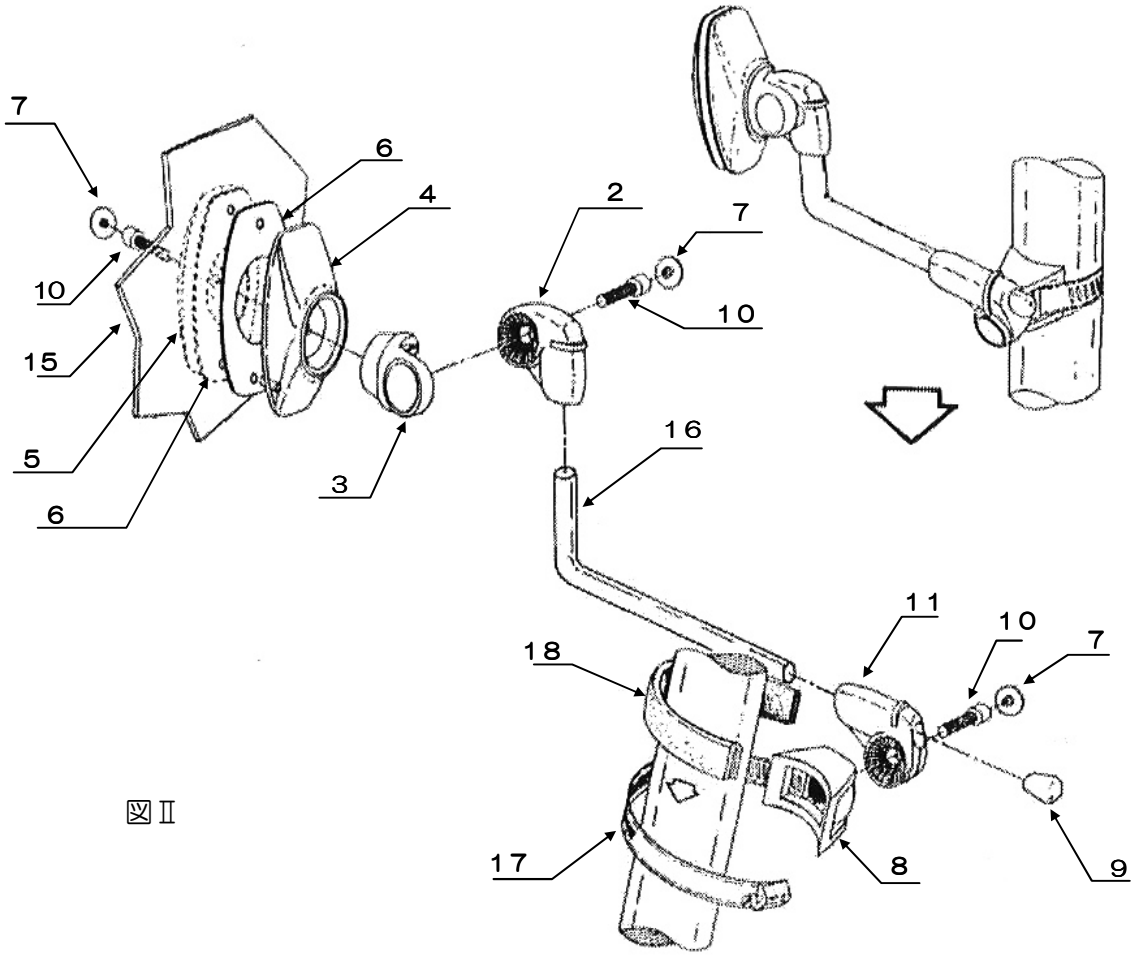
取付方法

1. 図Ⅰハンドル側の組立てを行います。ボルト類は仮止め状態しておいて下さい。この時スクリーン本体はまだ装着しないで下さい。
   【 **ワンポイント**：⑦カバーキャップ小、⑨ラバーキャップはこの段階ではまだ装着しない方が作業し易いです。】



図Ⅰ

2. 図Ⅱフロントフォーク側の組立てを行います。左右のフロントフォークステーをフロントフォークの適当な位置に仮組みします。ボルト類は仮止め状態しておいて下さい。
この時スクリーン本体はまだ装着しないで下さい。

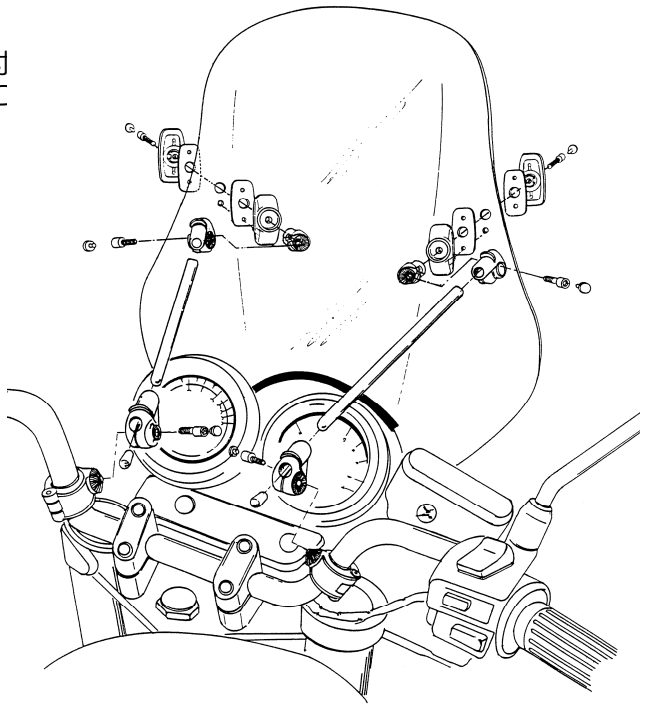


図Ⅱ

3. 1で仮組みした左右のステーをハンドルに仮止めし、スクリーン本体をステーに仮止めします。

⚠注意

④インナープレートには回り止め防止用の突起が付いております。突起を⑧スクリーン側の凹み部分に合わせてしっかり取り付けを行ってください。



4. スクリーンが仮止め出来ましたら、スクリーンの固定位置を決めます。この時左右の①ハンドルクランプバー⑯フロントフォーククランプバー自体の長さ、角度を調整してお気に入りのポジションに決めてください。

5. 各ボルト類は均等に少しずつ増締めして下さい。

⚠注意

１ヶ所ずつ増締めしていきますと固定位置がずれてきて上手に固定出来なくなりますので必ず全てのボルトを均等に締めていくようにして下さい。

⚠注意

バイザーが破損する恐れがありますので、スクリーン取り付け部の⑩六角穴付ボルトの締め付けトルクは、１０N・m（1.0kgf･m）以下で行ってください。

6. 図 A に示すように、ロックレバーを水平な所定の位置に動かしてください。

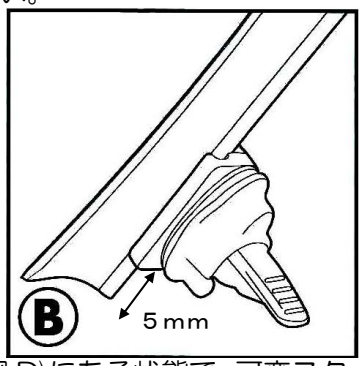
⚠警告

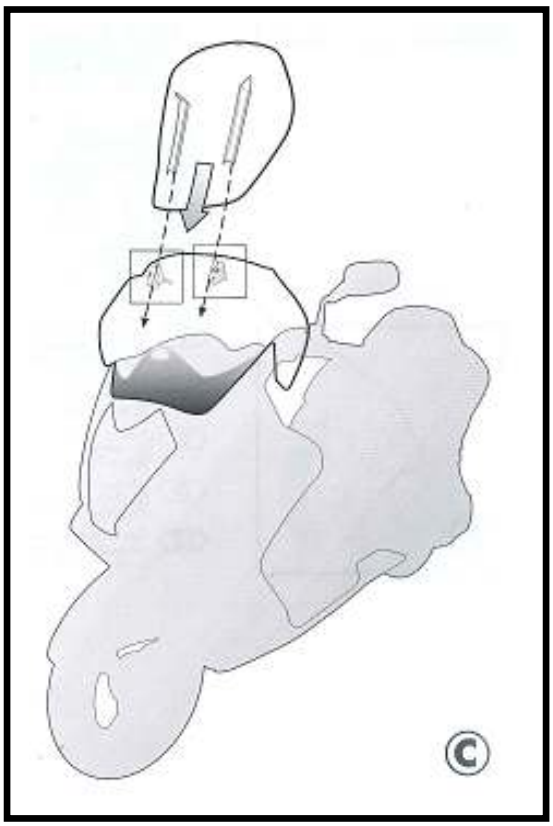
走行中のスクリーンの調整は大変危険です。スクリーンの高さ調整は車両が停止した状態で調整をおこなってください。

7. 図 B と図 C に示すように、⑮スクリーンのガイドへ可変スクリーンを装着してください。

⚠注意

スクリーンのガイドとロックの間隔は、スクリーンガイドの端から 5mm 以上離して使用してください。

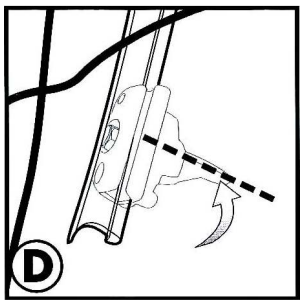




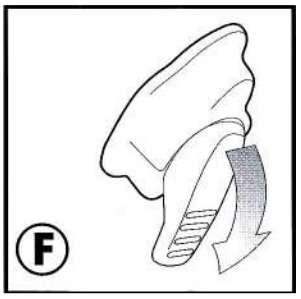
8. ロックレバーが水平な位置(図 D)にある状態で、可変スクリーンを乗車姿勢に合う位置に調整してください。

⚠警告

走行に支障が出る位置でのご使用はしないでください。



9. 可変スクリーンをお気に入りのポジションに決め、レバー(図 F)を固定してください。



10. 取り付け部に異常がないことを確認すれば、作業は完了です。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで